

氏名	安念 保昌
よみ	あんねん やすまさ
英字	ANNEN, Yasumasa
プロフィール	比較心理学からの進化的視点を、社会心理学や認知心理学に展開し、人間存在の本質部分から、ゼミでの活動を通して、社会との繋がりを追い求めてゆく。
職位	教授、心理カウンセリングコース長
最終学歴	筑波大学大学院博士課程心理学研究科単位取得退学
学位	教育学博士(筑波大学)
所属学会・役職	日本心理学会、日本動物心理学会、日本認知科学会、日本社会心理学会、日本生態心理学会、日本教育心理学会、日本人間行動進化学会
専門分野	比較心理学、社会心理学、認知心理学
研究テーマ	社会的ゲームと対人認知、進化社会心理学
主な教育・研究及び社会的活動及び業績	<p>【著書】</p> <p>『認識し行動する脳』東京大学出版会、共著、1988. 4.</p> <p>『動物の行動と心理学』教育出版、共著、1991. 3.</p> <p>『比較発達心理学』ソフィア、共著、1992. 4.</p> <p>『基礎心理学』ソフィア、共著、1994. 5.</p> <p>『マルチメディアと情報ネットワーク社会』文化書房博文社、共著、1996. 3.</p> <p>『社会性の比較発達心理学』アートアンドブレイン社、共著、2001. 4.</p> <p>『新しい心理学へのアプローチ』保育出版社、共著、2014. 12.</p> <p>【論文】</p> <p>Intermale aggression in rats selected for emotional reactivity and their reciprocal F1 and F2 hybrids. 共著, Aggressive Behavior, Vol.10, pp.11-19. 1984. 6.</p> <p>Septal lesions and biting attacks in rats bidirectionally selected for emotionality. 共著, Behavioral and Neural Biology, Vol. 43, pp.132-142. 1985. 9.</p> <p>Relationship between emotionality of intruders and aggressive behavior of residents in rats. 共著, Japanese Psychological Research, Vol.27, pp.119-124. 1985. 11.</p> <p>情動性に関して選択交配されたラットにおける侵入者攻撃と順位行動. 単著, 心理学研究, Vol. 57, pp. 273-280. 1986. 11.</p> <p>中隔破壊による社会行動の系列構造の変化 -TSUKUBA情動系ラットを用いて-, 単著, Neurosciences, Vol.13, pp.112-114. 1987. 3.</p> <p>実験動物の社会行動の研究. 単著, Laboratory Animal Technology and Science, ¥Vol.1, pp.200-203. 1988. 11.</p> <p>攻撃行動の遺伝, 単著, 遺伝, Vol.42, pp.27-32. 1988. 11.</p> <p>情動性に関して選択交配されたラットにおける社会行動の系列構造と発達の変化. 単著, 心理学研究, Vol. 59, pp. 326-333. 1989. 9.</p> <p>Tsukuba情動系ラットの野外フィールドにおける4年間の個体数の推移とそれに関連する雄の性行動. 共著, 筑波大学心理学研究, Vol.12, pp.37-45. 1990. 3.</p> <p>集団の自己組織化における情動と社会地図. 単著, 筑波大学心理学研究, Vol.13, pp.73-86. 1991. 3.</p> <p>Studies on the autonomic nerves function in Tsukuba Emotional Rats - with reference to their cardiac function. 共著, Journal of Veterinary Medical Science, Vol. 55, pp.1017-1023. 1992. 11.</p> <p>Defensive buryingの最近の研究動向. 共著, 筑波大学心理学研究, Vol.15, pp.53-62. 1993. 3</p> <p>Tsukuba High- and Low-Emotional strains of rats: An overview. 共著, Behavior Genetics, Vol. 24, pp.389-415, 1994. 9.</p> <p>2PDゲーム状況における協力と競争の変容 -社会的相互作用場面における対人認知の研究(5) -, 共著, 筑波大学心理学研究, Vol.18, pp.165-173. 1996. 3.</p>

進化的パーソナリティ論, 単著, 瀬木学園紀要, Vol. 1, pp.3-12. 2007.3.

Guessing the social context of a conversational partner: Relationship to the voice and the listener's autism quotient (AQ) Studies in Perception And Action, 共著, Lawrence Erlbaum Associates, New York. Vol.9, pp.87-90, 2007.7.

オートボイエーシスとアフオーダンス, 単著, 瀬木学園紀要, Vol. 2, pp.11-21. 2008.3.

Prisoner's Dilemma Games and the Autism-Spectrum Quotient. 単著, International Journal of Psychology, Vol.43, p.304. 2008.7.

Influences of cooperative and defective voice priming on the PD game performance. 共著, 13th International Conferences on Social Dilemmas, p.8. 2009.8.

進化的パーソナリティ論2: パーソナリティの生態学的制約への接地, 単著, 瀬木学園紀要, vol. 6, 8-18. 2010.3.

テキストマイニングによる空間的表象の分析: 性と移動手段による方向音痴の研究, 単著, 瀬木学園紀要, vol. 9, 48-69. 2015.3.

Comparison of attachment styles using co-occurrence networks in prisoner's dilemma game behavior with 4 strategies. 単著, The 31st International Congress of Psychology, 2016.7.

進化的パーソナリティ論3: 心理学的現象の実在性, 単著, 瀬木学園紀要, vol.10, 2-13. 2016.12.

口腔衛生意識・行動の親子相関と歯科保健学習の効果, 共著, 瀬木学園紀要, 11, 9-24. 2017.12.

親になるための共感性におよぼす性と愛着要因の影響 — 養育環境とのかかわりにおいて —, 共著, 瀬木学園紀要, 13, 2019.3.

【社会的貢献】

平成30年度名古屋土曜学習プログラム講師: 豊岡小学校

【講演会】

臆病なネズミと攻撃的なネズミの社会から見えてくるもの, 東海市議会研修会, 2002.10.

臆病なネズミと攻撃的なネズミの社会から見えてくるもの, 天白区役所研修会, 2017.11.

進化的パーソナリティ論: パーソナリティの成り立ちに進化ゲーム的道筋を考える. S研(社会心理学研究会)・筑波大学2018.3.

【学会発表(最近2年)】

親になるための共感性におよぼす養育環境の影響: 女子学生の要因について. 共同発表, 日本教育心理学会第59回総会・名古屋大学, 2017.10.7.

親になるための共感性におよぼす性と愛着要因の影響: 養育環境とのかかわりにおいて. 共同発表, 日本教育心理学会第59回総会・名古屋大学2017.10.7

ブラジリアン柔術を通じた日本・伯の交流. 共同発表, 日本教育心理学会第59回総会・名古屋大学, 2017.10.

PDゲームにおける性差と共起ネットワークの構造的変化, 単独発表, 日本心理学会第81回大会・久留米大学, 2017.9.

親になるための共感性におよぼす養育環境の影響 — 性と高・大生の要因について —, 共同発表, 日本心理学会第81回大会・久留米大学, 2017.9.

社会的ジレンマと囚人のジレンマ指標の相関 — 愛着における見捨てられ不安と親密性回避要因の影響 —, 共同発表, 日本社会心理学会第58回大会・広島大学, 2017.10.

公共財とPD ゲームにおける選択推移構造の愛着型による比較, 共同発表, 日本人間行動進化学会第10回大会・名古屋工業大学2017.12.9

グループワークと社会的ジレンマ(1) — 公共財ゲーム指標に関して —, 共同発表, 日本社会心理学会第59回大会(追手門学院大学), 2018.8.

グループワークと社会的ジレンマ(2) — 囚人のジレンマゲーム指標に関して —, 共同発表, 日本社会心理学会第59回大会(追手門学院大学), 2018.8.

性と社会的スキルの影響 — 性と高・大学生とのかかわりにおいて —, 共同発表, 日本社会心理学会第59回大会(追手門学院大学), 2018.8.

サイコパシー傾向と囚人のジレンマ: PD 共起ネットワーク構造に見られる特徴, 単独発表, 日本人間行動進化学会第11回大会(高知工科大学), 2018.12.